

500 ONE COIN サラマンカ500シリーズ
上質な音楽を気楽に

SALAMANCA HALL

音[ピアノ]とコトバ[語り]でたどるロシア音楽の世紀末と革命。

岡崎章・石原佳世

РоссияРенессанс—ПисьмоотЭпоха серебра—

Kayo Ishihara & Akira Okazaki
PIANO DUO CONCERT

小菅紘史(語り)

石原佳世&岡崎章 ピアノデュオコンサート

ロシア・ルネサンス—銀の時代からの手紙—

2018.11/1[木] 19:00 開演(18:30開場)

サラマンカホール

岐阜市数田南5-14-53

PROGRAM

ラフマニノフ:《組曲 第2番》作品17より第2曲“ワルツ”

プロコフィエフ:《悪魔的暗示》作品4-4(2台ピアノ編曲:岡崎章)

ストラヴィンスキー:《春の祭典》(連弾版)より 第1部“大地礼賛”(抜粋)

ヴィシネグラツキー:《2台の四分音ピアノのための24の前奏曲》作品22より第3番

スクリャーピン:《プロメテウスの回想》~交響曲第5番“プロメテウス-火の詩”作品60より~(2台ピアノ編曲:岡崎章)

ラフマニノフ:《悲歌(エレジー)》作品3-1(連弾編曲:岡崎章)

*曲目は変更される場合があります。

自由席 **500円**

*サラマンカメイトは指定席(最大180席まで)が
お求めいただけます。料金は変わりません。

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※サラマンカメイト指定席・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

チケット
発売日 **2018
8/8(水)** | メイト指定席販売期限
2018 10/25(金) まで

*窓口 9:00~ | 電話 10:00~ | インターネット 翌日0:00~
*メイト指定席が期限前に最大数に達した場合は終売とします。

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター
058-277-1110 [9:00~21:30]



PCコード: 117-708
[HP] t.pia.jp
0570-02-9999

じゅうろくプラザ.....058-262-0150
岐阜県 県有施設利用予約システム
[HP] www.shisetsuyoyaku-gifu.jp

サラマンカホール 検索
主催: サラマンカホール



beyond
2020

ロシアは辺境の遅れた国であった。そのことを最も感じていたのは他でもないロシアの芸術家たちで、ヨーロッパが遙か東洋の見知らぬ国の絵に夢中になっていたころ、ロシアはヨーロッパに焦がれもがいていた。そしてプーシキン、トルストイ、ドストエフスキーという文豪を生み出し、チャイコフスキー、ロシア5人組という天才音楽家たちが登場する。のちに「金の時代」と言われた19世紀末である。しかし帝政に対する国民の不満は、日露戦争の敗北で一気に高まり最初の革命がおこり、やがて勃発した第一次大戦への参戦。その混乱の中で1917年の革命に至る。この歴史上初めての社会主義革命は芸術にも引火し、新たな芸術があぶりだされてくる。これを“ロシアルネサンス”または“銀の時代”と呼んでおこう。未来派、アヴァンギャルド、構成主義・・・こういうものが次々と現れ、ロシア芸術は一気に花開く、と思われたがスターリンの登場で花はむしり取られ、ロシアの地から逃げ出すことになっていく・・・

「手紙シリーズ」～ショパン、印象主義につづくシリーズ第3弾は“音楽の革命”を生きた音楽家たちへのオマージュである。

Россия Ренессанс—Письмо от Эпоха серебра— PIANO DUO CONCERT

ワシリー・カンディンスキー「さまざまな円」部分

ピアノデュオ 石原 佳世・岡崎 章



石原 佳世と岡崎 章ピアノデュオのスタイルは、互いの音楽性を尊重しながら、芸術における創造と進化を追求するために、ピアノ連弾、2台ピアノのトランスクリプション（編曲）を含め、独自の世界観で現代におけるクラシック音楽へのアプローチをおこなっている。

1994年にポーランド国立クラフ音楽院へ留学。そこで彼らの音楽に最も影響を与えることになるハリーナ・チェルニー＝ステファンスカ女史に学ぶ。女史は、戦後初のワルシャワ第4回ショパン国際コンクールで優勝、マズルカ賞を受賞したピアニストである。女史からショパンやシマノフスキ、パデレフスキ、ザレンプスキ、パツェヴィッチ、セロツキ、ルトスワフスキなどポーランドの作曲家を中心に、歴史の背景から映しだされる自国における誇り高さとスラブ民族からなる音楽の源流について薫陶を受け、ポーランド国内を中心にヨーロッパでの演奏活動を始める。

数ある国際コンクールの上位に入賞する中、特筆すべきは、ショパンコンクールではワルシャワに次ぐといわれる第5回ダルムシュタット・ショパンコンクール（1996）で石原佳世が優勝。同年岐阜県民栄誉賞を受賞したことである。

2000年、ポーランド第4の都市ヴロツワフ「W. ルトスワフスキ・フィルハーモニー・ホール」で、ポーランドの現代作曲家ルトスワフスキの《2台ピアノのためのバガニーニの主題による変奏曲》でデュオを初めて組み、Gazeta Dolnośląska紙に『日本のロマンティック到来!!』と評され、二人の音楽の方向性とピアノデュオにおける表現の可能性を感じるようになった。現在、岐阜県内や愛知県内を中心に演奏活動や後進の指導にも力を注ぐ。

2014年『ショパンからの手紙』、2016年『印象派からの手紙』に次ぐ今回の手紙シリーズ第3弾『ロシア・ルネサンス～銀の時代からの手紙～』では、ピアノとコトバの響きの融合によってロシア音楽への扉を開いていく。

語り 小菅 紘史



1981年生まれ、東京都出身。2000年より、桜美林大学にて演劇活動をはじめ。平田オリザ（青年団）、宮城聡（クナウカ）、坂口芳貞（文学座）、安田雅弘（山ノ手事情社）、加納幸和（花組芝居）らのもとで学びながら、自主制作の演劇を数多くつくる。その後、フリーの役者としてジャンル・サイズ・環境を問わず、さまざまな場所で舞台上に立ち続ける。

2008年、より深く密度の高い演劇体験を求めて劇団「第七劇場」に所属。以降、劇団主宰で演出家の鳴海康平のもと俳優としてほとんどの作品に参加。代表作は「かもめ」「班女」「山月記」。2013年、劇団が三重県津市に新たに小劇場「テアトル・ドゥ・ベルヴェイル」をつくり活動拠点を移す。ドイツ、台湾、韓国などの公演のほか、各地の演劇公演にも客演している。

サラマンカメイトのご案内

【500シリーズの特典】
●「メイト指定席」で公演当日はラクラク入場！
※指定席エリア
E-J列11-22番から発売。
最大180席まで（S列まで）
●販売期間
公演日の1週間前まで

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引（1公演2枚まで）
- ダイレクトメールによるコンサートの案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話（058-277-1110）でもお受けしております。入会申込書をご郵送いたします。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにて用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

公共交通機関

- JR岐阜駅（北口）より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅（南口）より「西ぎふくるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分（南口タクシー乗り場より約2km）
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前（北側）から出発します。

客席のご案内

客席のご案内

自由席